

特集 「最後の授業」と「新たな継続」

当クリニックを開業当時から手伝ってくれた看護師・保健師の金城ゆかりさんが退職されました。糖尿病診療・療養指導に用いる資料作成、後輩ナースの育成、糖尿病教室の開設、そして最近では、公民館の皆様に「沖縄の重箱料理」の講習などをして頂きました。当初の目標は達成されたことから9月13日を最後の授業と致しました。いままで本当にありがとうございました。この場をかりて御礼申し上げます。金城さんの今後のご活躍を期待しています。

さて、栄養士が常勤していない診療所で栄養指導ができるプロジェクトを進めている県栄養士会の金城典子先生からのご紹介で、管理栄養士の先生方が毎週木曜日に個人栄養指導を実施してくれることになりました（名付けて「ちゃーがんにゅうプロジェクト」と言う頼もしいプロジェクトだそうです！）。個人栄養相談ですので完全予約制となっております。場所は当院の多目的室を使用するため、健康教室は3カ月間お休みにします。この期間は集団での糖尿病教室から、個別面談の形式で糖尿病の栄養指導を提供して参ります。

小説での「最後の授業」は、フランス語の使用を禁止された地域で最後にフランス語の授業を行うものです。政治弾圧や戦争のない社会にいる我々にとって、このような理不尽な環境の変化はありませんので、皆さんは安心して糖尿病治療を継続して行きましょう。今後とも宜しくお願いします。

9月13日の教室参加者の感想

- ・症状もないまま糖尿病は進行して行くと言うのを分かった。一番怖いことだと思う。毎月でも検査のために来院して自分を厳しい所に追い込むようにしないといけないと思った（浦添市50代女性）。
- ・自分では大丈夫なつもりでも、やはりすぐ忘れてしまう。誰か一緒にやってくれる人がいて刺激になって良かった（浦添市70代女性）。

時間割表

10月～12月まで健康教室休講

（個人栄養指導のため）

栄養指導担当講師

鳥袋直子先生

石川絹子先生

岡田芽衣子先生

上間智子先生

古川高子先生

<編集後記>

公民館の皆さん、重箱料理の話とても参考になったとのことでした。十五夜は大丈夫だったかな？